

◎おがのまち 議会だより

第57号

令和2年2月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地



Contents

11月臨時会	②
12月定例会	③～⑥
審議結果一覧	⑤
請願・一般質問一覧	⑥
一般質問（6名の議員の質問を掲載）	⑦～⑨
議長交際費・フォトニュース	⑩

小鹿野町消防団出初式が1月12日（日）に行われました。

また、消防車両36台が火災予防の啓発活動で防火パレードを行いました。

第4回11月臨時会

会期11月5日

本議会では人事案件など町長提出議案3件が上程され、慎重審議のうえ、原案のとおり、可決しました。

また、同日、議長選挙と副議長選挙も行われました。この選挙により、黒澤光司議長と猪野武雄副議長は共に再任となりました。また、議会人事案件を日程に追加し、常任委員会委員等の選任を行いました。

議会人事構成

議長

黒澤 光司（再任）

副議長

猪野 武雄（再任）

総務常任委員会

委員長 高橋 謙治

副委員長 加藤 喜一

委員 笠原 義行

委員 出浦 正夫

委員 岩田 和幸

委員 黒澤 光司

（所管）総務課、総合政策課、

税務課、おもてなし課、産業

振興課、建設課、会計課に関

する事務の調査及び審査

文化厚生常任委員会

委員長 山中 豊彦

副委員長 高橋 耕也

委員 齋藤 維

委員 猪野 武雄

委員 眞下 登

委員 強矢 好光

（所管）住民生活課、福祉課、保健

課、教育委員会、病院に関する事務

の調査及び審査

議会運営委員会

委員長 加藤 喜一

副委員長 出浦 正夫

委員 笠原 義行

委員 高橋 謙治

委員 山中 豊彦

委員 岩田 和幸

議会の運営を円滑、効率的に行う

ための機関です。

秩父広域市町村圏組合議会議員

高橋 耕也

出浦 正夫

秩父広域市町村圏組合議会の議事

や協議会に参加します。

議会選出監査委員

齋藤 維（継続）

代表監査委員とともに町の会計監

査を行います。

人事案件

・小鹿野町教育委員会委員の任命について（同意）

小鹿野 近藤 正氏

工事請負契約の締結

【工事名】 小鹿野町防災行政無線デジタル化更新工事
【施工箇所】 小鹿野町全域
【請負金額】 3億195万円
【請負業者】 ふじみ野市西鶴ヶ岡1-1-1
電気興業株式会社 埼玉営業所
営業部長 松本 秀樹

工事請負契約の締結

【工事名】 旧埼玉県山西省
友好記念館改修工事
【施工箇所】 小鹿野町両神薄地内
【請負金額】 1億1,880万円
【請負業者】 大里郡寄居町大字寄居266-1
寄居建設株式会社
代表取締役 高田 徹

旧埼玉県山西省友好記念館改修工事請負契約の締結について（要約）

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

山西省友好記念館を町で引き取った事自体反対です。また、町がクライミング施設を運営する経緯が理解できません。クライミングによる町おこしといっても、これだけの金額を支出するのは問題だと思えますので、反対します。

【原案に賛成】 10番 加藤 喜一
神怡館を残してほしいという意見があり、何とか残し、利用する方法を検討してきました。今できることは確実に一歩前に進むことです。また、少子化で少人数のスポーツは有効ですので賛成します。

【原案に反対】 5番 山中 豊彦
一番の問題は町が経営する事です。また利用者の見込みが危惧され、採算割れが予想されますので反対します。

【原案に反対】 6番 猪野 武雄
入札に関して、最低制限価格がいかに高めに設定されています。例えば8割という設定なら、一千万円も節約できた訳なので反対します。

【原案に反対】 7番 出浦 正夫
心情的には賛成したいが、山西省から贈られた石炭の大きな塊、仏像、獅子の置物などに関して、撤去後の扱いが定まっていなところから反対します。

小鹿野町 クライミングパーク神怡館 条例を可決

第5回12月定例会

会期12月10日～12日



12月定例会町長提案説明の様子

本議会では、条例の制定や一部改正、補正予算など町長提出議案12件、請願1件が上程されました。慎重審議のうえ、請願1件を継続審査、それ以外のすべての議案を可決しました。また、町政に対する一般質問では、7人の議員が登壇し、町政発展に向けての活発な議論がなされました。（一般質問は、7頁～9頁に掲載しています。）

専決処分

・令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第3号）
台風第19号における災害対策に係る経費等を補正し、歳入歳出それぞれ1億6,096万4千円追加したものです。

条例新設

・小鹿野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
・小鹿野町クライミングパーク神怡館条例

交流人口増加による町の活性化や町民の基礎体力向上に寄与するため、小鹿野町クライミングパーク神怡館を設置するためのものです。

主な質疑

Q どの程度の収入や費用を見込んでいるのか。

A 一年目は経費として、人件費や光熱水費等を試算し、1200万円かかると考えています。収入はオリンピック前であることもあり、850万円を見込んでいます。

Q 5年間の予測は。

A 2年目はオリンピック効果で300万円の黒字、オリンピック効果がひと段落した3～5年目は100万円の黒字を見込んでいます。

Q 学生の利用料金は町民等と町外であえて同じ料金にしたのか。

A 利用料金が異なるのが本来ですが、秩父圏域初めての施設であり、今後の利用を幅広く推進していくために同一の料金設定にしました。

【討論】

（要約）

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

最初にクライミングの施設について話を聞いた時には、平山さんが神怡館を使って1億程度収入がある非常に良い話だった訳ですが、その後、町がやるということになりました。その流れの中で計画性がなく、すっきりとしないものが増えてきました。宣伝方法について練られておらず、また収益確保の面からも難しいと考えられるので反対します。

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

現在の自分があるのはスポーツを通じて、人間形成ができたからだと思っ
て、人間形成ができたからだと自分では思っています。子ども達が
確固たる自分を作れる施設が小鹿
野町にできるということで、当町の
将来のためにも必要であると思いま
す。料金体系についても町民と町
外の子ども達を同一にするという考
え方は素晴らしい。また入込客を
増やし、観光を強化して、当町の
自然や観光、文化を知っていただ
くことにつながると思いますので賛
成します。

【原案に賛成】

2番 高橋 耕也

旧両神村で尽力されて建った
神怡館を残したいという声があり、
町が模索していた時に平山氏が来
て建物を見て、何とかなりそうだと
いうこと、また予算も埼玉県で見
てくれるということで、この度この
ような形にこぎつけたものだと思
います。最大のCMは夏に開催の東
京オリンピックに間に合わせるこ
とです。両神山、二子山、白石山と
いう世界に発信できる小鹿野町の

特色を活かすためにこのクライミン
グの施設も利用できると考え賛成
します。

【原案に賛成】

3番 高橋 謙治

議案の計画については、まだま
だ足りないところがあると感じて
います。ただ、恵まれた自然フィー
ルド、スポーツの拠点として、町
内の旅館等との相乗効果を考えま
すと、工夫次第ではとても効果が
あると感じます。実施するために、
リスクマネジメントや評価指標を
取り入れ、しっかりとした事業計
画を策定し、職員が尽力して運営
していくと信じ、賛成します。

条例改正

・小鹿野町一般職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例

災害等に対応する管理職員に対し
管理職員特別勤務手当を支給する等
のものです。

・小鹿野町社会体育施設条例等の一
部を改正する条例

小鹿野町の公共施設の使用料を改
正するものです。

●主な質疑●

Q 議案の構成として、5本の
条例を一括で改正する内容だ
が、なぜそれぞれの議案とし
て提出しなかったのか。

A 今回使用料については、全面
的に目を通した上で、使用料
等審議会の答申を受けて、一
括条例的に改正をお願いした
ということです。

Q 審議会委員からどのような意
見が出たのか。

A 委員総意として、町民使用
料に対しても、ある程度の受
益者負担を求めるべきとのこ
とでした。

Q 町外の使用料はほとんど変
わらず横並びだが、税収等下
がっている、歳入の確保が必
要な中、本当に真剣に議論し
たのか。

A 審議会でも真剣に議論し、町
外の料金は圏域内の他市町と
のバランスを踏まえた結果、
このような答申を頂きました。
社会体育施設等の使用料に
ついては、他市町とも議論し
て検討していきたいと思いま
す。

Q 町民、町外の使用料を計算
して、その維持管理に必要な
経費が賄えるのか。

A 使用料をもって、維持管理
経費に充てることはできません。
使用料は他市町との均衡や、
料金を上げれば、使用は減る
という受給のバランスもありま
す。今回は町民無料のところ
を受益者負担というところま
ではいきませんが、一部の負
担を頂くということです。

【討論】 (要約)

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

この条例案について、5本の条
例を一括に議題として、提案する
こと自体に問題があると考えてい
ます。議案の中には賛成できるも
のもあるし、反対のものも含まれ
ております。議員の意思を表すの
に、この様な議題の構成というの
は非常に問題があります。両神ふ
るさと総合会館の使用料の町民使
用料を値下げする改定は賛成です。
しかし、全体としては町民負担が
増えるということは歴然としてい
ます。この町に住む子どもからお
年寄りまでが生涯に渡ってスポー
ツに親しみ、学習をし、元気に暮
らすということからいうと現行の
町民使用料は無料だというのが堅
持するべきだと思いますので反対
します。

【原案に賛成】

9番 岩田 和幸

以前、町民の使用料を無料にする時に反対しました。受益者負担は大事だと思います。収入の低い人は大変だと思いますが、そのようない人が使うよりも、趣味で使っている人が多いと思います。確かに一度作った施設はなるべく多く使用してもらうということを考えていますが、例えば町民を無料にして、2倍、3倍の使用があつたかというとその様な事はなかったと思いますので、賛成します。

補正予算

・令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第4号）

台風第19号に伴う災害復旧費国庫負担金及び災害復旧事業債を財源として、林業施設及び町道、橋梁の復旧事業費を追加するとともに、前年度繰越金を財源として、被災した町道及び水路等の修繕費用、災害時に出勤した職員に対する時間外手当等の災害対策費用を充当するものです。以上の結果、歳入歳出それぞれ7億

2974万9千円を追加するものです。

・令和元年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

県支出金の保険給付費等交付金を財源に、歳出における保険給付費の療養給付費及び高額療養費等について、今後の支出を見込んだ額を増額し、歳入歳出それぞれ、1億4510万円を追加するものです。

・令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第5号）

台風第19号により、災害復旧事業として、県支出金を財源に伊豆沢地内の治山事業を実施するとともに災害復旧事業債を財源に森林管理道串脇緑の土砂撤去を実施するもので、歳入歳出それぞれ、1950万円を追加するものです。

人事案件

・小鹿野町監査委員の選任について（同意）

下小鹿野 黒澤耕太郎氏
宮下光雄氏が令和元年12月31日をもって辞職するため、後任として黒澤耕太郎氏を選任することについて同意を得るものです。

予算・条例等の審議結果

（○は賛成、●は反対した議員）

議案名		笠原義行	高橋耕也	高橋謙治	齋藤 維	山中豊彦	猪野武雄	出浦正夫	眞下 登	岩田和幸	加藤喜一	黒澤光司	強矢好光
11月臨時会	工事請負契約の締結について（防災行政無線デジタル化更新工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	工事請負契約の締結について（旧埼玉県山西省友好記念館改修工事）	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	-	○
	小鹿野町教育委員会委員の任命について（小鹿野 近藤 正氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
12月定例会	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町クライミングパーク神怡館条例	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	-	○
	小鹿野町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町社会体育施設条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	-	●
	令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	令和元年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	辺地に係る総合整備計画を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	町有財産貸付契約の締結について（旧小鹿野町般若の丘・バイクの森おがの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	小鹿野町監査委員の選任について（下小鹿野 黒澤 耕太郎氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	地上デジタル放送の難視聴解消施策に関する請願書	継続審査（総務常任委員会付託）											
	令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

※ 黒澤光司議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

請 願

・地上デジタル放送の難視聴解消施策に関する請願書

請願者

小鹿野町三山・河原沢テレビ共同受信組合

組合長 黒澤 巧

小鹿野町藤倉地区テレビ共同受信組合

組合長 新井 幸男

小鹿野町両神上薄テレビ共同受信組合

組合長 久保 栄一

小鹿野町両神小森地区テレビ共同受信組合

組合長 桑 和夫

紹介議員

山中 豊彦 強矢 好光

眞下 登 笠原 義行

岩田 和幸 加藤 喜一

猪野 武雄 齋藤 維

出浦 正夫

本請願は、12月定例会3日目（12日）に上程し、総務常任委員会に付託となり、閉会中の継続審査となりました。

議会全員協議会

○11月26日

・小鹿野浄水場を存続した場合の費用比較等について

・小鹿野町使用料等審議会の答申について

それぞれの議題について、執行部より現在の状況や今後の予定等について説明がありました。

※12月定例会閉会後

新たな役場庁舎に係る議場等の機能について検討しました。

小鹿野町議会行政視察

○12月6日

議会運営に資する議場等の機能について知見を深めるため、多目的利用の議場を有している新潟県刈羽村役場庁舎を視察研修しました。

また、東日本大震災以降、安全が危惧されている原子力発電所の現在の対策について柏崎刈羽原子力発電所を視察研修しました。



刈羽村役場庁舎の議場にて

町政に対する一般質問

一般質問一覧（質問順）

猪野 武雄 ・災害対策に関して ・幹線道路の整備に関して ・国道の安全通行の確保に関して ・消防団及び公衆衛生・観光行政に関して ・環境対策に関して	笠原 義行 ・新庁舎について ・三田川スポーツゾーンについて ・みどりの村について ・教育環境について ・職員の労働環境について
高橋 謙治 ・災害後の対応と今後の計画について ・地域整備と公共施設の有効活用について ・障がい者の採用について ・町職員の採用・異動について	高橋 耕也 ・台風19号の被害を受けて、今後の見直しなどについて ・政策審議会より受けた答申の株式会社「地域商社おがの」（仮称）について ・情報リテラシー（ネットリテラシー）教育について
岩田 和幸 ・9月議会での町長の答弁について ・町の空き施設について ・水道について ・台風19号について	出浦 正夫 ・台風19号による災害、復旧について ・子育て支援について ・水道行政について ・産業、観光振興について
齋藤 維 ・次世代育成について ・子どもの育ちについて ・災害対応について	

○7～9ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します。

町政に対する一般質問

12月
定例会

災害に強い町づくりで 町の安心を！



猪野 武雄 議員

質 先の台風19号による大雨では、道路や家屋等への被害は甚大である。町道落葉松線は、道路崩壊により通行不能のままである。また、林道串脇線を遮断する山腹崩壊では、大量の土砂が人家に迫っている。復旧の見通しはどうか。

答 落葉松線の復旧にあたっては、国の災害復旧補助を受けられるよう手続き中であり、年度内を目途に工事発注したい。串脇線の復旧では、町が土砂を取り除いた上で、県の治山工事として復旧を進めていくことになる。

質 台風19号では、別所浄水場近くの山での土砂崩れのため、大規模な断水

が生じている。そこで、

当町の上水道の危機管理上、小鹿野浄水場は別系統建てとすべく維持すべきと痛切に思う。町長は、理事会等で強く迫る考えはないか。

答 ミューズパーク越えと、小鹿野浄水場等を存続するケースとの比較では前者が16億円安く、かつ緊急時の広域的融通も可能だ。

質 「長尾根トンネル」の整備では、府坂峠付近を貫く秩父市側の一方的な変更案で事業が進められる恐れがある。秩父市側に対し調整の働き掛けができないか。

答 西秩父の悲願である現行の要望ルートで実現す

ることが大原則であり、事業主体の埼玉県や道議連等の関係機関と連携し

て早期事業化を実現したい。



高橋 謙治 議員

今後に活かすために 評価改善活動の履行徹底を

質 台風19号による大雨について今回の対応を検証し、今後に活かすことが必要です。消防団や自主防災組織から文書等で時系列での被害状況を入力し、改善を検討したのか。

答 被害状況につきまして、役場に被害報告があった時刻等の取りまとめはしています。今後の計画にどのような活かすかについては検討していないので今後検討してまいります。

質 土のうについては役場職員に用意いただいたが、必要な個数がすぐに用意できず、また土砂崩れ等で取りに行けない地域も出ます。そこで公園など

にストックしておくなどの対応が必要だと考えるが。

答 土のうに入れる砂等や袋を町で用意し公園や集会所の近くに置き、地元で対応いただくことを検討します。

質 避難所開設が長期化した場合、職員の負担はかなり大きいものになり、看護師さんや保健師さんなど資格を有した方に事前登録いただき、災害等に備えることが必要と考えるが。

答 災害時だけでなく、長期を見据えたボランティアの募集が検討できればと思います。

質 小鹿野町は素晴らしい野球場を有しており、小鹿野高等学校の野球部も有名です。野球での地域

おこしとして、埼玉武蔵ヒートベアーズと提携をすることで、観戦者の来町の促進と、少年野球や小鹿野高校への野球指導など、大いに街づくりに貢献できると考えるが。

答 野球は多くのお客さんにより合宿等の効果が非常に上がるスポーツだと理解しております。武蔵ヒートベアーズとの連携により、公式試合や練習場として使用する中で、子供たちに教えていただければ、より野球人口も増えますし、野球による交流人口、宿泊人口も増えていくのではないかと思います。



町民の安全を守る 災害対応について

齋藤 維 議員



質 今後の地球環境の変化を考えますと、今回の台風19号のような災害が発生する事を念頭に置いて、災害対応を考えていく必要があり、今回の経験を踏まえ、今後の災害対応についてのお考えを伺います。

答 今後、同程度の災害が発生することも予想されます。身を守ることは、「身の危険を感じる前に安全な場所に避難する。」といった心がけと行動で命を守ることができ、常にかういった意識を町民に持っていたら、くような広報等を通じ啓蒙に努めてまいりたい。今回の台風では、今までに経験したことのない多くの被害対応や、避難所対応などで、対応が不十分な部分もあったと思

ますが、今後は、反省点等を踏まえ、それぞれの計画等への反映、職員への周知なども検討していきます。

質 今回の災害も、消防団が大きな役割を担っていましたが、当町の消防団には雨具が支給されておらず、長袖の活動服も一枚の支給でしたので濡れてしまうと替えがありません。今後このような大雨の中の活動を想定すると、雨具と予備の長袖の活動服の支給が必要と思われるのですが、いかがお考えか伺います。

答 消防団員に対する装備品等については、基準に基づき配備を進めているところではありますが、基準に達していない装備品も多く、段階的に装備品の充実にも努めていると

次代へ歩む 新小鹿野町の創造

笠原 義行 議員



新庁舎について

質 旧三田川中学校を活用するというのは、無くなったという認識でよろしいのかお伺いいたします。

答 現在地に建て替えることで事務を進めていますので、旧三田川中学校を活用しての新庁舎建設

ところです。雨具の支給についてですが、今回の台風に対する消防団の活動により、その必要性を十分に感じておりますので、購入に向けて予算確保に努めてまいりたいと思います。活動服につきましては、今年度から新入団員に対し長袖の活動服二着の支給を始めたところで、今後は他の団員に対しても、二着目の活動服の支給を計画的に進めてまいりたい。

三田川スポーツゾーンについて

質 今後、スポーツゾーンをさらに魅力あるものとするため、具体的な整備計画を策定し、町内外へPRするとともに、観光同様、集客に努めるべきと考えますが、旧三田川中学校の活用も含め、どのように整備していくのか町長の見解をお伺いいたします。

答 総合運動公園を中心とした地域をスポーツ振興ゾーンとし、全体として集客力のあるゾーンとなるよう旧三田川中学校も活用できればと検討しております。具体的にはスポーツ合宿ができる施設としての活用を中心に検討しており、旅行会社やリゾート関連会社及び関

係機関などに出向き、利活用に関して提言や助言などをお願いしているところであります。

職員の労働環境について

質 令和2年4月に地方公務員法及び地方自治法の一部改正により会計年度任用職員が制度化されると思います。当町で働く臨時、非常勤等、職員の多くが任用移行されることとなりますが人件費等はどのようになりますかお伺いいたします。

答 会計年度任用職員が制度化されることにより現在勤めていただいている臨時、非常勤職員は、原則として会計年度任用職員へ移行します。人件費については、制度改正により、期末手当の支給率が上がることで、支給対象範囲が変更することに伴い、前年度と比較し、約一千万円増加する予想しております。

安心安全の再構築と 未来の基礎を築くために



高橋 耕也 議員

質 台風19号の被害を受けて今後の見直しについて伺います。

(1) 避難所での避難者への対応について

(2) 土のうの対応について

(3) 各水路のオーバーフローについて

(4) 土砂災害現場の対策について

(5) 倒木等が原因の停電対策について

答 各質問に対してマニュアル等の見直し検討をして適正な管理、復旧に努めてまいります。

質 政策審議会より受けた答申の株式会社地域商社小鹿野(仮称)について伺います。

(1) 公募により最高責任者を募集することについて

(2) 一般財団法人小鹿

野町振興公社の事業を移行させる場合、現在働かれている皆様の仕事について

(3) 町からの出資による経営の安定化について

答 (1) 経験と実績のある方に最高経営責任者となつてもらいたいと考えております。広く人材を求める意味からも公募により募集したいと考えております。

(2) 本人の希望を十分に考慮し、現職員が不利益のないようにお願いしていきます。

(3) 経営の安定化や対外的な信頼の確保の観点から、出資は必要だと考えますが、出資したとしても経営には極力関与しない姿勢が大切だと考えます。

質 情報リテラシー教育について

SNS等の利用が若年化する中で、新卒の犯罪に子供たちが巻き込まれるケースがあるが、教育現場での認識について伺います。

答 県警、総務省等に依頼して「サイバー犯罪」「SNSに係る諸事情とその対策」などについて、具体的な事例に基づいた指導を行いながら情報活用能力の育成に向けた指導を行っていきたいと考えます。



出浦 正夫 議員

台風災害復旧に全力を 小鹿野浄水場の存続が重要

質 台風19号による災害、復旧について伺います。

住宅への土砂流入、浸水、また宅地の崖崩れ等の復旧、防止策はどのように行われますか。

答 住宅への土砂流入等により被災された方につきましては、被災された方の申請により「り災証明書」を交付し、そのり災度に応じ様々な支援策をお知らせしているところです。宅地の崖崩れ等の復旧、防止策ですが、基

本的には、土地、住宅の所有者の方にお願ひして対応していただくことになろうかと思ひます。

質 住宅への浸水についてですが、小鹿神社鳥居前の国道から北裏通りに通じる区間と、町立病院南側の住宅で床下浸水が生じましたが対策を伺います。

答 小鹿神社通りについては、台風時に対処も行いました。降雨量、用水との関係もありますので検

討してまいります。病院南側については、実態を調べ検討してまいります。

質 水道行政について、別所浄水場周辺の大規模地すべり発生を受け、小鹿野浄水場の存続を強く求めるべきと考えますが、町長の考えを伺います。

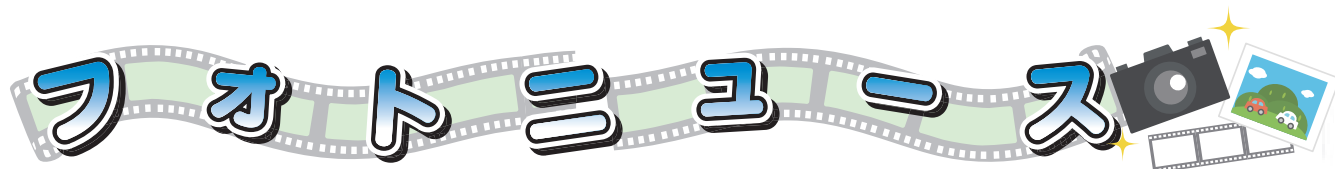
答 議会全員協議会でも説明がありましたが、整備費用が安価になることや、危機管理面でも今以上の対応が図られることを考えると、水道局策定の基本計画に基づき推進していくことが、町民の利益に繋がるものと考えます。

質 私は別所浄水場周辺の大規模地すべりはきわめて深刻と考えています。そこで伺いますが、町長はご自分の足で歩き、自分の眼で見る現地調査をされておりますか。

答 現地調査はしております。自分の足で現地を見てまいりたいと考えています。

■議長交際費の公開■ 令和元年10月～12月

月 日	会 議 名 等	金 額	月 日	会 議 名 等	金 額
10月6日	倉尾地区スポーツ大会費	3,000	11月30日	西秩父野球連盟納会費	5,000
10月19日	小鹿野ロードレース大会に係る招待選手歓迎会費	5,000	12月3日	秩父夜祭観光祭懇談会費（正副議長2名分）	6,000
10月27日	奈倉耕地運動会費	3,000	12月18日	両神山麓花とみどりを育てる会 反省会並びに忘年会費	4,000
10月27日	よこぜまつり会費	3,000	12月20日	小鹿野地区区長協議会懇親会費	5,000
11月10日	奥秩父大滝紅葉まつり大滝で語ろう会費	2,000			
11月17日	ちちぶ荒川新そばまつり会費	3,000		小 計	45,000
11月17日	歌舞伎・郷土芸能祭出演団体反省会費	3,000		令和元年度 支出合計	142,000
11月23日	長若ふるさとフェスティバル会費	3,000			



◆秩父地域議員連盟視察◆ ＝11月15日＝

秩父地域議員連盟視察研修で八ッ場ダムと碓氷峠鉄道文化むらを視察しました。



◆八幡神社例大祭◆ ＝12月8日＝

飯田の八幡神社例大祭が行われ、今年も無事に神馬が階段を駆け上がり、観客を沸かせていました。

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。

町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、3月上旬開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神庁舎・両神ふるさと総合会館のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

さて、昨年十一月の臨時議会時に、新たな議会人事構成となり、議会だより編集委員も新たな顔ぶれとなりました。

町議会定例会における議会活動を中心とした議会情報をお伝えできるよう工夫し、多くの皆様にお読みいただけるよう努力してまいります。

「こんなことを工夫してほしい」など、皆様のご意見・ご感想も是非お寄せいただければと思います。

▼議会だより編集委員会

委員長 高橋 謙治
副委員長 山中 豊彦
委員 高橋 耕也
委員 加藤 喜一
委員 黒澤 光司
委員 猪野 武雄

” ” ”